

たんぽぽ通信 No.123

発行日：2006年4月18日

発行者：たんぽぽ共同作業所

施設長 黒田道正

住 所：磐田市福田中島 138

TEL：0538-58-1541

E-mail：tanpopo-kyodo@ny.tokai.or.jp



家族教室

「くすりの話」

講師：木野薬剤師（福田西病院）

2月1日、たんぽぽにて

Q：精神科の薬と併せて、カゼ薬などを飲む場合はどうしたらいいですか？

A：精神科に薬を見せて、飲み合わせを聞いてください。

Q：服薬しながら、運転していいですか？

A：当日の体調で決めてください。眠気が強いようなら控えたほうがいいです。

Q：お酒を飲んでもいいですか？

A：薬とお酒を一緒に飲むと効きすぎてしまいます。

Q：薬をお茶で飲んでもいいですか？

A：精神科の薬は大丈夫ですが、水や湯の方がさらにいいです。

Q：薬を飲み忘れたら、どうしたらいいですか？

A：主治医に残っている量を言ってください。



Q：どうして精神科の薬を飲まなければいけないのでしょうか？

A：神経を休める為、睡眠をとる為、再発予防の為です。

Q：ずっと薬を飲み続けなければいけないのでしょうか？治るのですか？

A：今のところ、糖尿病などの慢性病と同じように薬でコントロールしていく必要があります。薬が少なくなっていくことはあります。完治はしなくても、普通に暮らしていける人は多くなってきています。

西部地区ペタボード大会

(2月16日、アミューズ豊田にて)

西部地区の施設から70チーム以上が参加して行われたペタボード大会。たんぼぼは3チームが出場。1次予選で敗退しましたが、たくさんの人と交流できたかしら？



初めてのペタボードでむづかしかったです。
(とこてん)

ステッキで押す前に肩に余計な力が入ってしまって、思ったように行かなかったので残念。(秀)

人がどのようなことを考え、何を思っているのか、それとも私に何を送ってくれてくれているのか、同じ立場で負けは負け、勝ちも勝ち。厳しい。(み)

「うまくできた。」とチェッカーをステッキで押し出す瞬間に思うの多いが、なかなかうまくできなかった。残念です。
(M.K.)

精神保健福祉学科の実習生

静岡医療科学専門学校から2名

(2月9日)

- 今日は半日ですが、とても楽しく過ごさせて頂きました。休み時間もただ別々に休むのではなく、皆で談笑しながら過ごし、雰囲気がとてもよく、人間関係のよさが作業効率に反映しているということで、グループで作業をすることの利点がしっかりと反映されておりました。作業に対する責任感は私も見習わなければ、と思います。(稲木)
- 今日半日ですが、お世話になりました。始めは、シーツの方に入らせて頂きました。大変難しくなかなかうまくできませんでした。やってもやってもなんだかうまくないというか、満足にできないようなきがして辛かったです。休憩の後の紐のほうが楽しくよかったです。皆さんにいろいろ教えていただき嬉しかったです。和気藹々とした雰囲気がとても素敵でした。(斎藤)